

お知らせ

秋の長雨

ここ数年は記憶に残っていないほど久々に秋の長雨が続き、いささか気が滅入ってしまうほどですが、そんな中でも受験生は学習に励んでいます。みなさん尊敬します。先月は10月なのに「超大型台風」が襲来し、どうなるのかと気が気ではなかったと思います。

これから秋が深まります。つまり受験生は追い込み開始です。どうあがいても残り時間は少なくなっていくばかりです。夏休み前にはすでに決心して学習に取り組んでいる生徒さんがいれば、一方ではどうしようどうしようと目の前の学習のことはそっこのけで、志望校を決定しかねている生徒さんもちらほら。

とにかく迷わず学習に取り組んでいくよう、いま一度受験生のみなさんを応援していきたいと思います。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
10/29 駿々堂テスト	30	31	11/1	2 調整休講日 ※	3 文化の日 私立中高説明会 ※	4
5	6	7	8 調整休講日	9	10	11
12 五ツ木テスト (中3全員)	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 勤労感謝の日 調整開講日 ※	24	25
26	27	28	29	30	12/1	2

【小・中学部共通】

「調整休講日」11月2日(木)、「文化の日」11月3日(金) ※一部の教室で学年によっては授業があります。
「調整開講日」11月23日(木) ※一部の教室で学年によっては休講となります。

【私立中学高校説明会】(会場: ジャガータウン教室)

11月3日(金・祝) 11:00~常翔学園、13:00~清風、14:15~大阪国際大和田

【高校入試説明会】(会場: ジャガータウン教室)

11月3日(金・祝) 12:00~ または 13:15~ の2回実施

【中学部のみ】

「五ツ木高校入試模擬テスト」11月12日(日) 中3生全員

私立中学校高等学校説明会・進学相談会(予約制)

毎年恒例の「私立中学校高等学校説明会」を、今年も実施いたします。今回は、毎年と同様に常翔学園、大阪国際大和田に加え、清風中学校高等学校をお招きし、学校紹介および進学相談会を実施いたします。座席に限りがありますので、定員になり次第お申し込みを締め切ります。

■ 11月3日(祝) ■ 会場: ジャガータウン教室

- ① 11:00~11:45 常翔学園中学校・高等学校
11:45~ 個別相談(成績表など個人資料が必要です)
- ② 13:00~14:00 清風中学校・高等学校
13:30~ 個別相談(成績表など個人資料が必要です)
- ③ 14:15~15:00 大阪国際大和田中学校・高等学校
15:00~ 個別相談(成績表など個人資料が必要です)

一般的な入試制度等についてお話いたします。「高校入試説明会」を同時開催いたします。
12:00~12:45 または 13:15~14:00

中3生、小6受験生の保護者対象「進路個人懇談会」

中3生は私立高校の受験校を決定し、公立高校の目標を話し合います。また、小6受験生は受験校や受験パターン詳細を決定いたします。

これまでの成績をもとに、ご家庭の希望や学校の内容などを踏まえ、最適な受験校を決定できるようお手伝いできればと考えております。中学生は学校の実力テストや内申点、小学生は五ツ木・駿々堂テストやプレテストの結果など、重要な資料が必要ですので、ご協力をお願いいたします。

■ 12月4日(月)~ ■ 各教室で実施。実施期間は教室によって異なる場合があります。



ともがく情報

「ネット上の偏差値」の話

★★そもそも偏差値って何？★★

今やインターネット上には様々な情報が掲載され、日々の暮らしにおいても学習においても、気軽に調べものができてとても役立っていますが、そもそも偏差値はどういったものなのでしょうか。

中学生や高校生は学校の内外でさまざまなテスト・模擬試験を受けていることと思いますし、またそれぞれに難易度のばらつきや受験者数の違いなどがあると思います。そこでテストによって「平均点」が推移することで、「簡単だった」「難しかった」などの結果が出ることと思います。

例えば、あるテストで平均点が35点のときと68点のときがあったとすると、平均点が低いテストのほうが「テストが難しかった」または「できなかった人が多かった」という印象を持たれると思います。そういったテストによる「ばらつき」があっても自分が平均点と比べてどの位置にいるのか、受験者の得点の「ばらつき」が多かったのかどうか偏差値によってわかるようにしています。

自分の得点が85点であったとします。平均点が35点のときには偏差値が高くなり、逆に平均点が68点のときには偏差値がそれほど高くなりません。よって、同じ得点でも平均点によっては「よくできた」とはならないのです。

ちなみに偏差値は平均点であれば「50」となるように計算されています。

★★ネット上のいろいろな偏差値に惑わされない★★

受験生や受験生をもつ保護者のみなさんがスマホやPCで自分の目指す学校がどれほどのレベルなのかを閲覧になり、「ネットで見るとA高校の偏差値が〇〇だから、五ツ木のテストの偏差値を見ると到底無理ですよ？」と私たち講師に尋ねられることがよくあります。

ですが、私たち講師からすると「なんの偏差値を見て言っているの？」と疑問に思ってしまう。その理由としては「どのテストを受けたときの偏差値であったのかが重要だ」ということが私たちには常識となっているからです。

例えば友学園では小5から中2まで「学カテスト」として塾内である模擬テストを利用しています。それは、全国の塾や私立小中学校で採用されている教材・テスト会社のものです。しかも中2の夏からその偏差値をもとに作成したランク表を見ながら志望校判定をしてもらうようにしています。

また近畿地区の中学受験生には「五ツ木・駿々堂中学進学学カテスト会(以下駿々堂テスト)」が、高校受験生には「五ツ木の高校入試模擬テスト会」が最も有名ですが、大手塾では独自の模擬テストを実施しているところもあります。ですから「どのテストの偏差値なのか」が最も重要になるのです。

五ツ木テスト等の偏差値は、以前にもこの「ともがくだより」でご紹介したことがありますが、改めてどのようになっているかは、右ページでご紹介しますので必ずご理解をいただき、今後の参考にしてください。

ネット上で掲載されている偏差値やランキングを紹介するサイトは、ほんの一例を挙げると以下のサイトがあります。（「高校受験 偏差値」と検索した場合に出てきます）

「高校受験ナビ」(<https://www.zyuken.net/>)

「高校偏差値.net」(<http://xn--swqwd788bm2jy17d.net/>)

「みんなの高校情報 大阪」(<https://www.minkou.jp/hischool/exam/osaka/deviation>)

「最新！高校偏差値情報」(<http://kintaro.boy.jp/>)

など、他にもたくさんあります。中には個人の趣味で運営しているようなサイトがあります。

ともがく情報

★★五ツ木テストの偏差値とネットの偏差値（ランク）★★

みなさんに理解していただくために、最も信頼性の高い五ツ木テスト会の偏差値と「高校受験ナビ」に掲載されている偏差値を比較してみたいと思います。表は五ツ木テストの偏差値の高い順に並べています。

学校名	五ツ木	高校受験ナビ
大阪市立東（普通）	55.5	58
牧野（普通）	54.5	62
大阪市立（普通）	54.0	60
枚方（普通）	51.0	58
香里丘（普通）	48.5	56
芦間（総合）	47.5	52

まずはじめに、五ツ木テストの偏差値によるランクと比較すると、数値が異なるのは他のテストにおける偏差値と比べてみてもよくあることなので大きな問題はありませんが、「大阪市立東」と「牧野」のランクが、五ツ木と高校受験ナビでは逆転しています。五ツ木テストでは長年にわたって牧野高校のほうが上でしたが、現在では大阪市立東のほうが牧野より若干上になっています。したがって、この偏差値によるランク自体に問題があることがわかります。

さらには、公立高校においては五ツ木テストを最も重要な資料としている塾としては、ネット上での誤ったランクや偏差値によって、生徒のみなさんや保護者のみなさんが惑わされ、やる気をなくし、弱気になりすぎて志望校を下げるようになってしまうことのほうが、その後の生徒さんたちの人生にとって良い経験にはならないと考えています。

しかもネット上の情報を掲載している運営者は堂々と以下のことも掲載しているのです。

【高校偏差値.net】のトップページ最上段

※高校偏差値、ランクは当サイトの独自調査から算出したデータです。高校受験の合格基準の目安としてお考えください。

※当サイトに記載している内容につきましては各種機関の情報や傾向を元にした独自のデータです。情報に関してはご自身の判断でご利用下さい。

【みんなの高校情報サイト大阪】

「利用規約」を必ずご確認ください。学校の情報やレビュー、偏差値など掲載している全ての情報につきまして、万全を期しておりますが保障はいたしかねます。出願等の際には、必ず各校の公式HPをご確認ください。

【高校受験ナビ】のQ&Aのページ

情報の正確性についての「高校受験ナビ」のスタンスは次の通りとなります。

「高校受験ナビ」は掲載情報の正確性に努めていますが、掲載内容について保証はしません。

ご利用者の責任と判断でのご使用をお願いします。

結びとして、偏差値はあくまでも「どの模試を根拠にしているのか」が重要であり、その根拠が信頼性のあるものなのかを含めてサイトを利用する方が判断せねばなりませんので、ネットはほんの参考程度にし、自分が受験したテスト会社が発行する偏差値表を基準にして志望校を考えるほうが安心だと思います。